

STEP BY STEP

兵庫県立大学附属高等学校

【30回生】学年通信：第5号

2024年1月9日発行

〈今年もよろしくお祈いします！〉

課題考査の出来はいかがでしたか？ 年も改まり、みなさんそれぞれ新たなる決意に漲っていることと思います。さて、3年生の先輩たちは今週末に共通テストを控え、緊張感を持って過ごしています。ぜひそんな先輩方の姿に、2年後の自分の姿を重ねてみてください。未来の自分のために、今私たちは何ができるだろうか。

高校1年生もあと3か月、締めくくりの時期が近づいてきましたね。この一年を悔いのないものにするために、30回生全員で支え合って、全力で駆け抜けていきましょう。「思い出は一生懸命走らなければ できない！」

・体育大会(10/5)



「芸術鑑賞会」(10/20)の感想



今年の芸術鑑賞会は、劇団自由人会さんたちに学校に来ていただき「夢をかなえるゾウ～青春ロボット編～」という演劇を鑑賞しました。私は「夢をかなえるゾウ」の本を読んだことがなく、演劇を見るのも初めてだったのでとてもわくわくしていました。

幕が開いてまず最初に、本格的な舞台装置に目を奪われました。そして俳優さんたちの迫力ある演技や効果的な照明と音響の中であつという間にストーリーに引き込まれていきました。

主人公卓二の前に突然現れたガネーシャが、いろんな難題を彼に与え夢の実現へと導いていきます。陽気なガネーシャの一挙一動が面白くて、会場は笑いの渦でした。ガネーシャのセリフの中には大切な言葉がたくさん詰まっていて、きっとたくさんの人の心に響いたと思います。私もいつか本当に叶えたい夢を見つけて実現できるよう前向きに頑張っていきたいと思いました。(2組：宮本)

私たちは今回、芸術鑑賞会ということで劇団自由人会の皆様に来ていただき、『夢をかなえるゾウ～青春ロボット編』というテーマの劇を鑑賞させていただきました。この劇は、『夢をかなえるゾウ』という本が原作となっています。私は以前この本を読んだことがあったため、始まる前からワクワクしていました。

劇の内容は、将来ロボットの研究者になるという夢を描いている主人公が、それを認めてくれない父親と対立するのですが、関西弁を話すガネーシャが現れ、主人公へその夢をかなえるための助言をし、その助言によって夢を諦めないことの大切さに気付かされるというものです。

家族に強く当たってしまったり、上手くいかないことを人のせいにしてしまいがちな私たちですが、最後のガネーシャから言われた「毎日感謝をする」ということを心に留めて生活しようと思えました。

このような素敵な劇を見ることができた私たちは、運がいい！(3組：横田)

一番印象に残っていることは運が良いという言葉です。これは生活する中で上手くいかなかったりミスをしたりしてしまっても、運が良いとポジティブに考えるということです。約16年生きてきて楽しいことは数え切れないほどありましたが、失敗も沢山しました。失敗した時は「もう嫌や、またミスしてしまったら」と不安になってしまっていたけれど、この劇を観てポジティブに捉えるとラッキーなことに繋がるのではないかと思います。

この劇はガネーシャというゾウの神様が登場して将来のことで悩んでいる高校生にアドバイスをして成長していくというお話で、アドバイスの内容が予想外のことで、とても面白かったです。高校生がマイナスな考えをしまっている時に「そんなわけあるかい」とつつこんで正しい方に持っていくところも面白かったです。この劇は今の私たちの気持ちに重なるところがあって、楽しく考えることが出来た良い劇だと感じました。(4組：長谷川、大堀)

今回、芸術鑑賞会で劇団自由人の会の皆さんによる「夢をかなえるゾウ」を見ました。このストーリーは一人の高校生が突然現れた神様の力を借りながら自らの道を切り拓いていく物語です。私はこの劇を見て、主人公が親と意見が食い違う中、自分の強い想いを親に全力でぶつけているシーンで主人公が自分で自分の道を選んで進んでいるんだなというのを感じて感動しました。

また、今回生でプロの方の演劇を見ることができてすごく勉強になりました。舞台上の立ち回り方、声の使い方など役者の行動一つ一つにより観客が分かりやすいようにする工夫が見られました。さらには舞台上にいる役者だけでなく、裏で動いている照明や音楽などもタイミングがばっちり、舞台上の雰囲気を演出するうえで欠かせないものとなっていると感じました。私たちは来年の文化祭で劇をやるので、ぜひこれを参考にしてすばらしいものをつくりたいと思います。(5組：西村)

※1組の感想(北郷さん)は3月発行「テクノロゼ」に掲載されます。



祝辞:兵庫県立大学國井総一郎理事長

自分が通う学校の歴史を聞くことができたり、先輩方の学生時代、どのような分野でご活躍されているかについて楽しく知ることができたりと貴重な時間を過ごすことができました。たしかに30年と他の学校に比べたら歴史は短いですが、話を聞いて、たくさんの人の支えがあってこの学校があるのだなと感じました。

先輩方は様々な分野で活躍されていて、自分も就きたい職業に就いて活躍できたらいいなと思いました。また、建てられた当時はめずらしい「自由」を校風としたこの学校ですが、「自由」と一緒に「責任」もあるんだということを先生方が仰っていました。今も昔もこのことが守られているからこそ「自由」を校風にできているんだということを改めて感じました。(1組:関)

学校の成り立ちや自主性を重んじた校風、学校生活など、様々な人の視点からこの学校への思いなどを知ることができました。そして、過去を振り返るとともに、学校の成長と変化が語られ、未来への希望が詰まった式典だと感じました。これからも校訓の「創進」や校歌の「めざせ 世界のパイオニア」の言葉の通りに未来へのステップを踏んでいくことが今回の式典で改めて大切だと感じました。

式典を通して、在校生としての誇りと共感が高まりました。思いがこもった校歌を大事にし、後輩に恥じないように、三〇回生として勉強と高校生らしい学生生活を頑張りたいと思います。

(2組:三宅)



記念講演:太田勲前兵庫県立大学学長



創立期の先輩によるパネル・ディスカッション

通学バスや寮での過ごし方など、先輩たちが学生時代を振り返った当時の話がとても面白かったです。

特に印象に残った話としては、パネラーの方が将来の仕事を決めたキッカケのお話です。その先輩が弁護士を目指したというキッカケは、なんと寮生活での出来事だったそうです。寮内ではたくさんの人が生活しているので、うるさくなりがちです。ご自身の受験期に寮内のうるさい環境を解決したい、静かな環境で勉強したいという思いが法律への興味につながり弁護士を目指すキッカケになったといいます。このように自分の人生を決定するような重要なキッカケというものは身近で些細なところにあるんだなと思いました。先輩方の話を直々に聞くことは臨場感に溢れ、とても充実した時間を過ごすことができました。(3組:境)

特に印象的だったのは卒業生の方々のお話で、卒業後の進路や職業について知ることができました。農家、弁護士、コピーライターの方や、映画の制作や楽曲制作など多岐にわたり活動されている方、バックパッカーで得た経験を活かし企業で働いている方など、多種多様な人生を送られており驚きました。また、私たちにもたくさんの可能性があるということを改めて認識しました。

今まで卒業生や先生方、保護者の方々など様々な人達が築いてきた学校の歴史を次の40周年や50周年に繋げていきたいです。私自身、これからもこの学校や自分自身の将来のために、個性豊かな附属生のみinnなど、一層努力していきたいと思います。

(5組:船引)



寄贈された創進の額は職員室前階段に!

・第3回 高大連携授業「こころの健康について」(10/24)



・薬物乱用防止講演会(11/17)



・出張授業「アサーション・トレーニングのすすめ」(12/21)



・海外研修報告会(12/21)



★10/23～25 研修旅行の下見(台湾)に行ってきました！



☆1月～3月行事予定

〈睦月-1月〉

- 1/16(火) 高大連携授業④
- 1/20(土) 進研模試
- 1/26(金) 生徒登校禁止(中学入試のため)
- 1/28(日) 全統模試(校外:希望者)

〈如月-2月〉

- 2/2(金) 情報モラル講演会
- 2/14(水)～2/19(月) まで
生徒登校禁止(高校入試のため)
- 2/27(火) 卒業式予行、表彰式
- 2/28(水) 卒業式

〈弥生-3月〉

- 3/1(金) 第5回定期考査(～3/7)
- 3/8(金) 生徒休業日
- 3/14(木) 球技大会
- 3/15(金) 生徒休業日
- 3/18(月) 午前中授業(～3/21)
- 3/19(火) 教科書販売
- 3/22(金) 終業式